

ジュニア エレクトーン フェスティバル 2010 全日本大会

夢舞台で繰り広げられる 若き才能の競演!

11月27日 小学生低学年部門、中学生部門

11月28日 小学生高学年部門、高校生部門
ゆうぼうとホール(東京・五反田)

春から始まったジュニアエレクトーンフェスティバル2010。東京・ゆうぼうとホールの華やかなステージで、52名の子どもたちが渾身の演奏を披露しました。金賞受賞者のコメントとともに、結果をお知らせします!

JEF
JUNIOR ELECTONE
FESTIVAL 2010



1 52名のファイナリストに送られたファイナリスト賞のトロフィー。2 27日、小学生低学年部門と中学生部門の出演者。3 28日、小学生高学年部門と高校生部門の出演者。4 総評を述べる杉山久仁夫審査員長と、上柴はじめ、栗山和樹、中川英二郎、岩内佐織、冨咲賢一、廣田奈緒子の各審査員。

<審査員の講評より>

テクニック、表現力ともにジュニアとは思えないほどレベルが高く、オリジナリティあふれる演奏を楽しんだと語る審査員たち。さらに「小さな子には、将来を見据えて年齢に合った選曲も必要なのでは?」「もっと楽器で遊んで」「限られた演奏時間の中で本当に伝えたいことを伝えるためには、欲張らないこと」「若いときは、技術を見せるための音楽になりがち。音楽を見せるための技術、ということも心に留めて」「自分の演奏を聴く耳を大切に」「音楽は言葉。ひとつの言語で話しましょう」などの貴重なアドバイスで、若い才能を激励した。

エレクトーンを学ぶ、高校生以下の子どもたちが日頃の学習成果を発表するジュニアエレクトーンフェスティバル。春の特約店大会に始まり、地区大会、エリアファイナルを勝ち抜いて、ファイナルステージに駒を進めたのは、4部門52名の若き精鋭たち。華やかなオープニングセレモニーの舞台上に並ぶ彼らの清々しい笑顔には、春から秋までの各ステージを経て着実に成長した自信があふれていた。まさに「のび盛り、夢舞台」、エレクトーンへの熱い思いのこもった個性豊かな演奏が繰り広げられた。

小学生低学年部門(4年生以下) 13名、小学生高学年部門(5・6年生)

15名は、曲のイメージに合わせた可愛い衣装に身を包み、小さな身体を精いっぱい使って鮮やかなパフォーマンスを披露。演奏技術、表現力ともに驚くべき完成度で、客席を埋めた聴衆を圧倒した。中学生部門14名、高校生部門10名になると、自己の音楽世界をエレクトーンに託して表現しようとする強い意欲が感じられるエネルギーあふれる演奏ばかり。若く自由な感性が、エレクトーンの魅力さまざまな形で引き出し、未来への可能性を予感させた。

このステージをステップに、若き音楽家たちがさらに大きく成長し、エレクトーンの新時代を切り拓いていくことを期待したい。



携帯着うた® サイト
「エレっちゃ!」をチェック!

「エレっちゃ!」で JEF2010 全日本大会の金賞受賞者の演奏曲を聴くことができます。会員は試聴・ダウンロード無料です。